

Ⅱ 世界史問題

注意

1. 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙はすべてHBの黒鉛筆またはHBの黒のシャープペンシルで記入することになっています。HBの黒鉛筆・消しゴムを忘れた人は監督に申し出てください。(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
3. この問題冊子は8ページまでとなっています。試験開始後、ただちにページ数を確認してください。なお、問題番号はⅠ・Ⅱとなっています。
4. 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、出席票の受験番号が、あなたの受験票の番号であるかどうかを確認し、出席票の氏名欄に氏名のみを記入してください。なお、出席票は切り離さないでください。
5. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
6. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷つけたりしないように注意してください。
7. この問題冊子は持ち帰ってください。

マーク・センス法についての注意

マーク・センス法とは、鉛筆でマークした部分を機械が直接よみとって採点する方法です。

1. マークは、下記の記入例のようにHBの黒鉛筆で枠の中をぬり残さず濃くぬりつぶしてください。
2. 1つのマーク欄には1つしかマークしてはいけません。
3. 訂正する場合は消しゴムでよく消し、消しきずはきれいに取り除いてください。

マーク記入例：

A	1	2	3	4	5
	○	○	●	○	○

 (3と解答する場合)

I. 次の文を読み、下記の設問 A・B に答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

古代から貨幣は財取引の媒介になるとともに、貸付にも用いられてきた。貨幣として貴金属が使用されていたという記録は、メソポタミアやエジプトの各文明にもみられるが、金属貨幣が初めてつくられたのは、紀元前7世紀のリディア王国であった。貨幣の製法は間もなくギリシア、特にアテネをはじめとする各ポリス、さらにシリアやキプロスなどに広まり、地中海沿岸の多くの地域で独自の貨幣が製造された。

貨幣は各地で独自につくられていたために大きさや重さがバラバラであったが、大帝国を樹立したアレクサンドロス大王はそれらを統一し、新たな貨幣を製造した。一方、ローマ帝国では、当初、銀貨を中心とする貨幣制度を採用していたが、財政の行き詰まりなどを背景として銀の含有量を減らした貨幣の発行が相次ぎ、貨幣の信頼性は大きく損なわれていった。こうした事態に対し、コンスタンティヌス帝は（イ）と呼ばれる金貨をつくらせて金貨を中心とする貨幣制度への移行と、貨幣価値の安定化を実現させた。（イ）金貨は、東ローマ帝国でも使用され、信頼性の高い貨幣としてヨーロッパのみならず広範な地域で数世紀にわたって流通した。

8世紀から10世紀にかけて、さまざまな民族の侵入によって動揺していた西ヨーロッパの国々では、その後次第に成立していった封建社会の下で荘園の農業生産が増大し、余剰生産物の交換を行う定期市が開かれるなど、商業が再び活況を呈するようになった。また、ムスリム商人やノルマン人の商業活動によって貨幣経済が大きな広がりを見せるようになった。さらに、大規模な物資の交易が盛んになったため、貿易で発展する都市も現れた。しかし、ヨーロッパにおける貨幣経済の浸透は、同時に封建社会のあり方を根底から変え、1381年にイギリスで（ロ）の乱が生じるなど、農民が不自由な身分からの解放を求める動きが現れるようになった。

15世紀に入ると、ヨーロッパ諸国ではオスマン帝国を介さずに胡椒などの香辛料を手に入れる新航路を開拓するため、絶対的な支配権力をもつ君主の支援の下で多くの探検が行われ、世界規模の貿易・植民地建設が展開された。そのなかにあつてネーデルラントの港町（ハ）は、16世紀後半にスペイン軍によって占領されて衰退するまで、アジアの香辛料やイギリス産毛織物が集散する商品取引の中心地としても、国際的な決済の行われる金融取引の中心地としても大いに繁栄した。

（ハ）にはまた、新大陸からの銀も集積した。ラテンアメリカに進出したスペインによってヨーロッパにもたらされた大量の銀は国際通貨として使用され、16世紀以降の世界規模の交易を支えるとともに、ヨーロッパでの貨幣流通の発展を助けた。しかし、

ヨーロッパへの銀の大量流入は、通貨価値の低下¹⁹⁾を起し、定額地代に依存する封建貴族を苦境に陥れるなど、封建主義的な経済から資本主義的な経済への移行を促進した。

A. 文中の空所(イ)～(ハ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の下線部1)～19)にそれぞれ対応する次の問1～19に答えよ。

1. これをおこなう銀行家(兩替商)として14世紀に台頭し、15世紀には当主が共和国元首としてフィレンツェを支配した大富豪一族の名をしるせ。
2. 古代エジプトの歴史を解明するための重要な考古学的発見のひとつは、20世紀前半にほぼ未盗掘のまま見つかったツタンカーメンの王墓の発見であった。この発見があった頃のエジプトに関する次の問i～iiiに答えよ。
 - i. 第一次世界大戦後、エジプト王国が成立したが、それはいつか。次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。

a. 1919年 b. 1922年 c. 1925年 d. 1928年
 - ii. エジプト王国を含むアラブ7ヵ国は1945年にアラブ連盟を結成するが、この連盟に含まれない国はどれか。次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。

a. イラン b. サウジアラビア
c. シリア d. レバノン
 - iii. エジプト王国を含むアラブ連盟加盟の5ヵ国が、第1次中東戦争において戦った相手の国家の名をしるせ。
3. 中国において製造・使用された次の金属貨幣a～cについて、もっとも古いものを解答欄のiに、次に古いものをiiに、以下同じようにiiiまで年代順にマークせよ。

a. 五銖銭 b. 宋銭 c. 半兩銭
4. 古代ギリシアのポリス社会では、市民は家族と数人の奴隷の労働で世襲農地を耕作して経済的自立を保った。市民に分配されたこの世襲農地は何と呼ばれるか。次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。

a. アゴラ b. クレーロス
c. コロナトゥス d. ラティフンディア

5. イギリスがキプロス島の行政権を得た条約を、次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. サン・ステファノ条約 b. パリ条約
c. ベルリン条約 d. ロンドン条約
6. この大王のディアドコイの 1 人は、大王の故地に王朝を開いた。前 168 年のピュドナの戦いに敗れて滅亡したその王朝の名をしるせ。
7. この帝国のアウグストゥス帝の時代、『ローマ建国史』を著した人物は誰か。その名をしるせ。
8. 732 年のトゥール・ポワティエ間の戦いにおいてイスラーム軍を退けたメロヴィング朝の宮宰は誰か。その名をしるせ。
9. 彼らが海上交易の際に利用していた船の名を、次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. カラック船 b. ガレオン船 c. ジャンク船 d. ダウ船
10. こうした都市が結成した都市同盟の 1 つにハンザ同盟がある。ハンザ同盟の有力加盟都市であり、1460 年に帝国都市となった、エルベ川下流に位置する港湾都市を、次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. ダンツィヒ b. ハンブルク c. ブレーメン d. リューベック
11. 18 世紀半ばに 3 度にわたっておこなわれ、イギリスがフランスを破ったインド争奪戦争を何と呼ぶか。その名をしるせ。
12. 15 世紀にアジアで起こった出来事に関する次の問 i・ii に答えよ。
- i. 15 世紀半ばにオイラト軍を率いて土木の変で明軍を破った人物は誰か。その名をしるせ。
- ii. 15 世紀にアユタヤ朝に併合された、タイ族最古の王朝の名をしるせ。
13. この帝国のアフメト 3 世の治世は、対外的には戦争がほとんどない穏やかな時代であった。文化的にもフランスの影響を受けて爛熟期を迎えたこの時代は、ある花に例えて呼ばれる。この花の名をしるせ。
14. 西部ジャワ島に成立したイスラーム国家で、16 世紀から 17 世紀に胡椒交易で栄えた港市国家の名をしるせ。
15. 王権を絶対視する政治体制が市民革命によって倒されていく代表例としてフランス革命がある。この革命に先立って三部会議員となり、革命勃発後はパリ国民軍司令官として活躍し、「人権宣言」の起草にも携わった自由主義的な貴族は誰か。その名をしるせ。

16. ヘンリ7世の命令を受けて北西航路を探検し、1497年に北米大陸に上陸したジェノヴァ出身の航海者は誰か。その名をしるせ。
17. 1620年にメイフラワー号で北アメリカにわたったピルグリム＝ファーザーズは、上陸した地にメイフラワー号の出港地であったイギリスの港市の名を付け、そこに植民地を建設した。その港市の名をしるせ。
18. この国では、ポルトガル・オランダ・フランスなどの外国商人と契約を結んで黒人奴隷を輸入し、新大陸の銀山などで労働に従事させた。この奴隷供給請負契約のことを何と呼ぶか。その名をしるせ。
19. 通貨価値の低下の事例には、第一次世界大戦後のドイツを挙げることができる。その際、レンテンマルクを発行して、これを克服することに成功したドイツ首相は誰か。その名をしるせ。

Ⅱ。次の文を読み、下記の設問A～Dに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

世界は日本をどのように見ていたのだろうか。

中国でタクシーに乗って私が日本人だと告げたところ、運転手が「徐福とともに渡った童男童女の子孫ですね」との答えが戻ってきた。徐福は、始皇帝が不老長寿の薬を求めるために東の海に送り出し、日本に到着したとされる人物である。¹⁾しかし、徐福が日本に到着したということは、史料によって裏付けられていない。

日本とされる「倭」が、中国の正史で最初に登場するのは、(イ)が撰し、その妹らが補って完成させた『漢書』である。『後漢書』には、倭はおよそ百あまりの国に分かれ、武帝が(ロ)氏朝鮮を滅ぼしたあと、三十ほどの国が使者を送ってきた、と記されている。古代の日本の情報を詳細に伝える通称「魏志倭人伝」は、正史『(ハ)』『魏書』の「烏丸・(ニ)・東夷伝」から「倭」に関する箇所を抜き出したものである。(ニ)はのちに北魏を建てることになる民族である。この「東夷伝」によれば、後漢末に新たに置かれたくあ郡を起点として、その東南の大海のなかに「倭人」がいたとされている。

南北朝時代にくい>が建国した宋に関する正史『宋書』で、はじめて「倭国」として記載がなされる。『隋書』には、日本から隋にあてた国書が「日出づる処の天子」と書き出されており、煬帝はそれを見て不愉快になったとされるが、その翌年には返礼の使節を倭国に派遣している。²⁾

正史『旧唐書』のなかで「倭国は、その名称が優雅でないことを嫌い、日本にあらためたとあり、以後、中国の正史では「日本国」の項のなかで、日本の事情が記載されるようになる。『宋史』では、日本から僧侶の裔然が中国に来訪し、筆談で「国のなかには五経と仏典、白居易集七十巻が流布している」などと述べて、日本が文明国であることを強調したとされる。³⁾⁴⁾

ヨーロッパに日本の情報を最初に伝えたのは、ヴェネツィアから中国に向かったマルコ＝ポーロだとされている。ヴェネツィアが主導権を取った第4回十字軍は、コンスタンティノープルを占領して(ホ)帝国を建てた。しかし、ポーロが東に向けて旅を始めた時期には、この帝国は滅んでいた。ポーロたち一行は、パレスチナの地中海沿岸にあったキリスト教国の最後の拠点となっていた港市の(ヘ)まで船で赴いたのち、ユーラシア大陸を横断した。ポーロは元朝下の中国で得た日本に関する伝聞を、口述している。

世界が日本に注目するのは、16世紀半ば、密貿易商人がシナ海域をめぐるようになってからである。宋代に海上交易を管理する官庁である(ト)が置かれた浙江省の寧波で、

1523年に勘合貿易の主導権をめぐって日本人が乱闘する事件が起きた。その事件が契機となり明朝は日本に対して警戒心を強め、正規の貿易が滞った。この空白を埋めたのが、中国側が倭寇と呼んだ密貿易商人である。明代に徽州商人の出身でありながら倭寇の頭目となったくう⁵⁾は、1543年に鉄砲を携えたポルトガル人を種子島に導いた人物と推定されている。明朝は密貿易商人などの動静を探るために、日本に人を送り込んで調査させている。

1545年から(チ)でひらかれた公会議が契機となってカトリック勢力の巻き返しが始まると、その先兵となったイエズス会は積極的にアジアで布教活動を繰り広げた。イエズス会は(リ)がフランシスコ＝ザビエルらとともに1534年に結成し、初代総長となった修道会である。日本を訪れたイエズス会宣教師たちは、日本に関する情報をヨーロッパに伝える役割を果たした。中国において宣教師マテオ＝リッチの指導の下で作成された世界地図「(ヌ)」には、日本列島がかなり正確に描かれている。

18世紀末になると、通商をもとめる欧米人が日本と接点を持ち始める。ロシアのエカチェリーナ2世が派遣した使節(ル)は、1792年に根室に来訪している。イギリスが自由貿易を求めるために中国に派遣したマカートニーは、清朝の皇帝に謁見した帰路、琉球から来た朝貢使節と遭遇し、琉球を調査する必要性を指摘している。マカートニーのあと1816年に派遣された使節(ヲ)を乗せた船は、中国に使節を届けたあとに琉球に赴き、調査をしている。琉球は当時、南九州の大名の支配を受け、刀や鉄砲を取り上げられていた。その様子を観察した艦長は、帰路に南大西洋の(ワ)島に流されていたナポレオンのもとを訪れ「琉球の人々は武器を持たない」と報告したところ、ナポレオンは驚愕したと伝えられている。

アジアの小国という日本のイメージを、日露戦争が変えた。しかし、新たなイメージがどのようなものであったのかは、慎重な検討が必要である。(カ)は、ウィーン議定書でロシアの属領となっていた。日本がロシアに勝利したことが契機となって親日的な世論が形成されたとされることがあるが、これには明確な根拠はない。なお、(カ)は1917年に独立を達成したものの、第二次世界大戦前後の国際情勢に翻弄され、ソ連に侵略されるという苦難の歴史を持つ。また、インドでは、この国の最初の首相となった(ヨ)が、「日本のロシアにたいする勝利がどれほどアジアの諸国民をよろこばせ、こおどりさせたかということをわれわれは見た。ところが、その直後の成果は、少数の侵略的帝国主義諸国のグループに、もう一国をつけ加えたというにすぎなかった」と述べている。

A. 文中の空所(イ)～(ヨ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の空所〈あ〉～〈う〉にあてはまる適当な語句を、それぞれ対応する次の a～d から 1つずつ選び、その記号をマークせよ。

- 〈あ〉 a. 加羅 b. 帶方 c. 任那 d. 楽浪
〈い〉 a. 司馬睿 b. 司馬炎 c. 趙匡胤 d. 劉裕
〈う〉 a. 王直 b. 鄭芝竜 c. 鄭成功 d. 李舜臣

C. 文中の下線部 1)～5)にそれぞれ対応する次の問 1～5に答えよ。解答はそれぞれ与えられた a～d から 1つずつ選び、その記号をマークせよ。

1. この人物が設置した郡はどれか。

- a. 交趾 b. 敦煌 c. 南海 d. 日南

2. この人物の事績はどれか。

- a. 科挙制度をつくった b. 九品中正を廃止した
c. 租庸調制を創始した d. 大運河を完成させた

3. このなかに含まれないものはどれか。

- a. 易経 b. 大学 c. 春秋 d. 礼記

4. この人物は唐代の文人である。次の人物のなかで、唐代の文人でないのは誰か。

- a. 王維 b. 韓愈 c. 蘇軾 d. 柳宗元

5. この商人グループは明の政府と結びついた。これと同様に明朝と結びついて勢力を拡大した商人グループの出身地はどこか。

- a. 広州 b. 山西 c. 山東 d. 南京

D. 文中の下線部 の時期に起こった次の出来事 a～dのうち、もっとも古いものを解答欄の i に、次に古いものを ii に、以下同じように iv まで時代順にマークせよ。

- a. アルバニアがイタリアに併合された
b. チェコスロヴァキアがドイツに解体された
c. バルト3国がソ連に併合された
d. ポーランドがドイツに侵攻された